

# バイオエアロゾルサンプラー

## BSS302 BioSpot-GEM™ Bioaerosol Sampler



### 適用

- ✓ 空間中の感染症ウイルスの継続モニタリング
- ✓ 多地点でのバイオエアロゾルサンプリング
- ✓ 工場、病院、農地など様々な環境に対応
- ✓ 現場作業の方による簡易サンプリング

### 概要

本製品はポータブル性に優れた使いやすいバイオエアロゾルサンプラーで、空気中に浮遊するバイオエアロゾル（ウイルス、細菌、真菌孢子、毒素、たんぱく質、アレルギーなど）を含むエアロゾル粒子を高効率でスワブ上に捕集します。

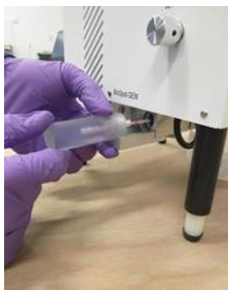
操作方法がシンプルでエアロゾル分野の知識・経験がなくても簡単に使用でき、作動音が静かなためオフィスや学校、病院、介護施設などでの使用にも適しています。

サンプル空気中の10 nm～10 μmのエアロゾル粒子は過飽和水蒸気の凝縮核となって粗大な水滴に成長し、流路中に挿入された無菌スワブ上に捕集されるため、容易にサンプル抽出、PCR検査などの分析に使用できます。また外的衝撃が少ない捕集法のため、サンプルは生存能力を維持し培養にも利用可能です。

凝縮成長を利用した捕集ではフィルタやインピンジャによるサンプリングに比べ、異物混入の心配がなく高品質かつ濃縮されたバイオエアロゾルサンプルが得られます。

### 特徴

- ✓ ゲノム保存剤（特許出願中）でコーティングされた無菌スワブ上への高品質な濃縮サンプル捕集
- ✓ 10 nm～10 μmの幅広いサイズのエアロゾル粒子を高効率で捕集
- ✓ 装置は簡単操作で小型・軽量・静音設計
- ✓ PCR検査やDNAシーケンシングなどの分析への応用が容易





# 仕様

測定粒子径範囲	10 nm ~ 10 μm
捕集材	無菌スワブ（綿棒）
捕集率	>95 %
粒子濃度	0~10 <sup>5</sup> 個/cm <sup>3</sup>
凝縮液	蒸留水グレード以上の清浄な水
サンプリング流量	1.2 L/min
エアロゾル条件	0~40 °C ※非腐食性ガスに限る
サンプリング時間	2つのプリセットから選択（プリセット値はユーザ設定可）
ステータス表示	4色LED（黄、緑、青、赤）
通信	USB経由でのサンプリング時間設定、パラメータ・ステータス出力
動作環境条件	10~35 °C、10~95 %RH（結露なきこと）
サンプルインレット	外径φ10 mm ステンレス管
サンプルライン洗浄	オゾン、アルコール、過酸化水素
機器消毒	過酸化水素ガス（VHP）推奨
電源	90~240 VAC / 50~60 Hz
寸法	H241 mm x W213 mm x D203 mm
重量	4.5 kg
消耗品	 <p>シリンジ    ゲノム保存剤&amp;ピペット    無菌スワブ&amp;バイアル    排水瓶    無菌水バッグ</p> <p>注）本体付属のサンプルキットに8検体分の消耗品が同梱されています。</p>

本装置のエアロゾル粒子捕集技術は、Aerosol Dynamics社の認証を受けて以下の特許技術を使用しています。（他特許出願中の技術あり）  
 アメリカ：6712881, 7736421, 8801838, 9658139, 9821263    ドイツ：10392241    中国：201180052428.5    日本：5908475

## ADI社製 水凝縮成長バイオエアロゾルサンプラー 比較表

	BloSpot-GEM™ sampler	BioSpot-VIVAS™ sampler
	BSS302	BSS310
		
適した分析法	ゲノム分析（PCR, DNAシーケンシング）	ゲノム分析, 培養, その他生物検定
捕集材	無菌スワブ, ウェル	液体（水, バッファなど）
捕集液量	—	1.5~2.0 mL
吸引流量	1.2 L/min	8.0 L/min
流量制御	オリフィス差圧（自動）	ロタメータ（手動バルブ）

\*仕様は予告なしに変更される場合があります。ご了承ください。

 **東京ダイレック株式会社**

東京本社 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1 内藤町ビルディング  
 TEL 03-3355-3632 FAX 03-3353-6895（代表）  
 TEL 03-5367-0891 FAX 03-5367-0892（営業部）

西日本営業所 〒601-8027 京都市南区東九条中御霊町53-4-4F  
 TEL 075-672-3266 FAX 075-672-3276

<http://www.t-dylec.net/> e-mail : [info@tokyo-dylec.co.jp](mailto:info@tokyo-dylec.co.jp)

June 2021